



春の熱海を満喫しよう！

春の風が心地よい季節になりました。そんなポカポカ陽気な日は、外出したくなりますよね。遠出も良いですが、近年の熱海はとっても賑やか。3月のイベントも盛りだくさんです。

3/9・10 南熱海お宿グルメフェスタ、3/23・24 伊豆多賀わかめまつり（長浜海浜公園）

3/23～4/7 熱海城桜まつり（開花状況によるそうです）

3/24 熱海マルシェ（銀座通り商店街） 3/31 熱海で熱気球体験（サンビーチ）・春季熱海海上花火大会（熱海湾）等開催予定だそうです。地元熱海の春を満喫してみたいはいかがでしょうか。



ヤマメとサクラマス



ヤマメは有名ですがサクラマスと聞いてピンとくる方は少ないと思います。しかし全く同じ種類の魚だということは意外と知られていない事実です！

両者ともに川で生まれ生涯を川で過ごすグループ（陸封型）をヤマメと名付け、海に降りるグループ（降海型）をサクラマスと名付けているのです。つまりサクラマスの陸封型をヤマメと呼んでいるという事になります。秋から冬に孵化し1年をかけて10センチほどへ成長しますが同じ頃に生まれた個体の中でも徐々に力の差が出始めエサにありつけない個体たちは海へ降りて行きます。しかし海に出るには海水でも生きていけるように体を変化させなければなりません。海水適応が済んだ個体はパーマークという斑紋が無くなり体は銀色に変化。これをスモルトまたは銀毛と呼びます。そして海という未知の領域へ旅立って行きますがそこには危険な大冒険が待ち構えています。海での過酷な冒険に耐え抜いた個体は約1年間海で過ごし川よりもエサが豊富な海で最大60センチ以上に逞しく成長を遂げ子孫を残すため故郷の川へと戻って来ますが海へ旅立つサクラマスのうち故郷の川に戻って来られる個体は1%以下だそうです。なんとという過酷な旅でしょうか…その後も川を遡上し産卵を済ませるとその生涯を終えます。同じ川に生まれながら違い過ぎる生き方をする名前の違う同じ種類の魚。元々は弱くエサもろくに獲得できなかった魚が海という全く違う環境へ飛び込み試練を乗り越え川に残るヤマメの2倍近い大きさになって帰ってくる。映画になりそうなストーリーですよ（笑）魚の生き方からも学ぶべきところは多そうです。

常盤 好司

◇お知らせ◇

◇太田先生◇ 全国選抜高校テニス大会にトレーナーとして帯同のため

3月20日（水）～23日（土） 休診とさせていただきます。

◇前田先生◇ 出張のため 3月1日（金）・4日（月） 休診とさせていただきます。

◇3月11日（月） 学校行事のため休診とさせていただきます。

◇3月16日（土） トレーナー講習会参加のため休診とさせていただきます。



【3月休診日】

3日、10日、11日、
16日、17日、21日、
24日、31日

常盤 好司（ときわ こうじ）

出身地：神奈川県

はり・灸・あん摩マッサージ指圧師

